



SAP Ariba 

# 機能の概要

個別のバイヤークラウドアカウントで SAP Field Service Management の連携をサポート

Franck Dupas、SAP Ariba  
一般提供予定: 2020 年 5 月

CONFIDENTIAL

# 機能の概要

導入の難易度  やや複雑  
対象エリア  グローバル

説明: 個別のバイヤークラウドアカウントで SAP Field Service Management の連携をサポート

## 今までの課題

SAP Field Service Management を使用したサービス証明の有効化を希望する各バイヤーは、独自の SAP Field Service Management アカウントの API (バイヤーのみが把握している認証パラメータを含む) に接続するよう Ariba Network を設定する必要があります。

## SAP Ariba で問題解決

SAP Ariba 2002 リリースでリリースされる「SAP Field Service Management を使用したサービス証明」機能を補完するため、この機能では、個別のバイヤークラウドアカウントで SAP Field Service Management の連携がサポートされます。この機能を使用すると、バイヤーが SAP Field Service Management 内で処理を管理するために独自の SAP Field Service Management アカウントを所有および操作できます。

## 主なメリット

この機能を使用して、独自の SAP Field Service Management アカウントを所有および管理することにより、SAP Field Service Management で処理および作業を完了することができます。バイヤーは Ariba Network で SAP Field Service Management アカウント詳細を設定することができます。これはその後 SAP Field Service Management の作業を完了する際に Ariba Network で使用されます。

## 対象ソリューション

SAP Ariba Commerce Automation/SAP Ariba Commerce Automation メンバシップ

## 関連情報

この機能を有効にするには、貴社の指定のサポート担当 (DSC) に連絡してサービスリクエスト (SR) を提出してください。

## 前提条件と制限事項

SAP Field Service Management を使用したサービス証明を有効化および設定する必要があります。

# 機能の概要

## 説明: 個別のバイヤークラウドアカウントで SAP Field Service Management の連携をサポート

### 機能の詳細情報

ダッシュボードの [アカウント設定] プルダウンリストをクリックして、[プロフィールの管理] を選択します。

[設定] ページが表示されます。

[設定] ページの下部にある [SAP Field Service Management 連携設定] をクリックします。

[SAP Field Service Management 連携設定] ページが表示されます。このページの例については、このドキュメントの次のページを参照してください。

以下のセクションのフィールドに詳細を入力します。

- **SAP Field Service Management API アクセス設定:**

- **データセンター:** プルダウンリストから SAP Field Service Management アカウントのデータセンターを選択します。たとえば、アカウントが米国のデータセンターのものである場合は、プルダウンリストから [us] を選択し、中国のデータセンターのものである場合は、[cn] を選択します。注: データセンターは、SAP Field Service Management のログイン URL から識別することができます。たとえば、ログイン URL が <https://us.coresystems.net/admin/login/auth> の場合、データセンターは us となります。
- **アカウント名:** SAP Field Service Management アカウント名を入力します。
- **クライアント ID:** SAP Field Service Management アカウントに関連付けられている OAuth クライアント ID を入力します。
- **クライアントシークレット:** SAP Field Service Management アカウントに関連付けられている OAuth クライアントシークレットを入力します。

上記の詳細を設定すると、Ariba Network アカウントから SAP Field Service Management アカウントへのサービスコール (サービス証明) 情報のフローが有効になります。

- **SAP Field Service Management コールバックの共有シークレット:**

- **Auth ユーザー**は、SAP Field Service Management での **Streaming API (コールバック)** 設定の設定で使用した Ariba Network の Ariba Network ID です。Auth ユーザーは編集不可です。
- **Auth パスワード**は、Ariba Network で設定された認証パスワードであり、Ariba Network への **Streaming API (コールバック)** を有効化するために SAP Field Service Management で使用されます。

上記の詳細を設定すると、SAP Field Service Management アカウントから Ariba Network アカウントへのサービスコール (サービス証明) 情報のフローが有効になります。

[保存] をクリックして変更内容を保存し、[閉じる] をクリックしてページを終了します。

# 機能の概要

説明: 個別のバイヤークラウドアカウントで SAP Field Service Management の連携をサポート

## SAP Field Service Management API アクセス設定のユーザーインターフェイス

The screenshot shows the SAP Ariba Network user interface for configuring API access. The page title is "Field Service Management API Access Configuration". It contains two sections of configuration fields, each with "Save" and "Close" buttons.

**Field Service Management API Access Configuration:**

- Data center:  Australia
- Account Name:
- Client ID:
- Client Secret:

**Shared Secret for Field Service Management call back:**

- Auth user: AN02000362240
- Auth password:

© 2019 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved. | [Contact Support](#) [SAP Ariba Privacy Statement](#) [Security Disclosure](#)

フォローをお願いします。



[www.sap.com/contactsap](http://www.sap.com/contactsap)

© 2020 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も SAP SE または SAP 関連会社の明示的許可なしに、いかなる形式、目的を問わず、複写、または送信することを禁じます。

本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE がライセンスする、またはその頒布業者が頒布するソフトウェア製品には、他のソフトウェア会社の専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は SAP SE または SAP 関連会社が情報提供のためにのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAP またはその関連会社は文書に関する誤記・脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP または SAP 関連会社の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

特に、SAP SE またはその関連会社は、本書または関連文書に概説された事業の実現、またはそこに記載されたいかなる機能の開発またはリリースに対する義務も負いません。本書、関連プレゼンテーション、および SAP SE またはその関連会社の方針および予定されている将来の開発、製品、またはプラットフォームの方向性および機能は、すべて変更される可能性があり、SAP SE またはその関連会社は随時、理由の如何を問わずに事前の予告なく変更できるものとします。本書に記載された情報は、いかなる品目、コード、または機能の提供の確約、保証、または法的義務を表すものではありません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、こうした将来の見通しに関する記述を過度に信頼しないよう注意が求められ、また、購入時の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。

SAP、ならびに本書に記載するその他の SAP の製品およびサービスは、そのそれぞれのロゴとともに、ドイツおよびその他の国々における SAP SE (または SAP 関連会社) の商標または登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する情報および表示の詳細については、[www.sap.com/copyright](http://www.sap.com/copyright) を参照してください。